

ドクターカー患者搬送訓練
応急手当教育プロジェクト

TORIDDE

止石

五城目消防広報誌

Vol.6

【特集】

- ・旧五城目小学校解体に伴う震災対応訓練
- ・消防団 第4分団長インタビュー

ドクターカー患者搬送訓練

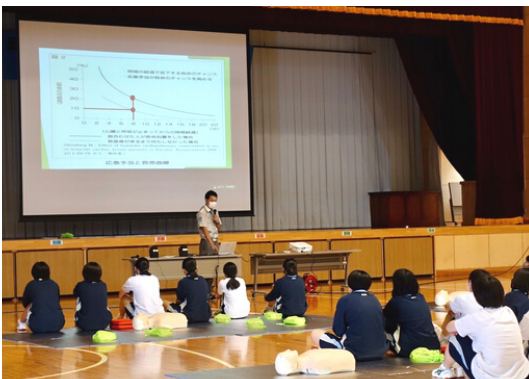


秋田大学医学部附属病院とドクターカー運用に向けた**患者搬送合同訓練**を実施しました。

大学病院では、**医師・看護師**が同乗し傷病者のもとへいち早く駆け付けるための**緊急車両「ドクターカー」**を導入しました。ドクターヘリが天候不良などによりフライトができない際に、患者を搬送途上の救急車とドッキングし**医師の早期医療介入**が可能になります。

今回の訓練では**ドクターカー要請**から**医師乗り込みまでの要領**や、**医師が同乗した救急車内での医療連携訓練**を実施しました。当本部は今後も医療機関との連携を強化し、更なる救急業務の質の向上を図ります。

応急手当教育プロジェクト



9月9日、救急の日に「**応急手当教育プロジェクト**」として、署員と女性消防団員が五城目第一中学校に伺いました。

このプロジェクトは、町内の小中学生をターゲットに、鼻血、切り傷、骨折、脱臼などの怪我に対しての**応急手当**や心臓が止まってしまった人への**心肺蘇生法**、さらに救急車を呼ぶための**119番通報の仕方**などを学び「**命の大切さ**」について考えるきっかけを作り、**応急手当の重要性**を根付かせ、**救命率とバイスタンダー（居合わせた人）による心肺蘇生法実施率の向上**につなげることを目的として、今年度から取り組んでいます。

— 特集 —



震災対応訓練

五城目小学校の移転に伴い解体することとなった旧校舎を活用し、9月27日・28日に**震災対応訓練**を実施しました。

本訓練は湖東地区消防本部、男鹿地区消防本部、五城目警察署と合同で開催され、地震等により倒壊した建物に進入する場所がなく、コンクリートを破壊しないと進入・救出ができない場合に、ドリルやエンジンカッターなどを用いて壁等の鉄筋コンクリートに穴をあける**ブリーチング訓練**を中心に進められました。

五城目小学校の歴史に感謝の気持ちを込めて

52年間、ありがとうございました



五城目町消防団の活動

GOJOME FIRE CORPS VOLUNTEER FIREFIGHTERS

分団長インタビュー

「頼られる消防団」



五城目町消防団 第5分団長

宮崎 博之

学生時代は陸上部に所属し、県大会で区間賞を記録するほどの実績を持つ宮崎分団長。俊足を生かし、消防操法大会では多くの功績を残してこられました。その時に受けた激励に恩返しができるよう、現在は分団長として後進の指導に力を入れています。

「もっと消防団を頼ってほしい。地域と消防団とのかかわりを深め、災害対応だけでなく、小さなことでも頼られる消防団でありたい。」そう話す宮崎分団長は、人と人との繋がりを大切にしており、インタビュー当日も頼りがいのある優しい笑顔で答えてくれました。

「密着！五城目消防」が放送されました

< ABS 五城目消防



密着！五城目町消防本部
ABS秋田放送・151 回視聴・5 時間前

9月22日にABS秋田放送さんの番組コーナー「ふるさとACTION！」で消防本部の特集が放送されました。約8分間の長尺で消防本部の特色や最近の取り組みについて紹介していただきました。

ABS秋田放送公式YouTubeに同内容の「密着！五城目消防」が掲載されましたので、下記のURL又はQRコードからご覧ください。



<https://youtu.be/0vdQtHv4Wws>

～編集後記～

本号の表紙は旧五城目小学校での震災対応訓練の一枚です。長きにわたり生徒たちを見守り続けた校舎にそのことを語る術はありませんが、解体のその時まで崩れ落ちることなく立っていた姿には、あたかもその使命を果たそうとする強い意志のようなものを感じました。52年間、本当にありがとうございました。

「砦」 第6号 編集・発行/五城目町消防本部 消防広報誌編集委員会

〒018-1856 秋田県南秋田郡五城目町富津内下山内字奈良崎90-1

TEL 018-852-2028 FAX 018-852-4367

HP <https://www.town.gojome.akita.jp/syobo>

令和3年11月1日 発行

HP



Facebook



Instagram

